

第2編

令和6年10月27日執行

第50回衆議院議員総選挙
第26回最高裁判所裁判官国民審査

1 選挙の概要

第50回衆議院議員総選挙及び第26回最高裁判所裁判官国民審査は、令和6年10月15日に公示され、同月27日に執行された。

このうち衆議院議員総選挙は、9月27日に第28代自由民主党総裁に選出された石破茂議員が、9月30日に開いた記者会見において、首相就任後、臨時国会会期末に衆議院を解散することを表明した。表明どおりに10月1日に第102代内閣総理大臣に就任後、10月9日午前の臨時閣議にて衆議院の解散を決定、10月15日に公示、10月27日を投開票日とすることとし、同日午後の本会議において衆議院が解散した。

10月1日の解散表明から27日の投開票日まで、わずか26日間しかなく、解散から選挙期日までの期間も18日間と、非常に短期間での準備が必要な選挙となった。

今回の衆議院議員総選挙は、政治資金パーティー券収入の還流や政策活動費に係る不記載など「政治と金」にまつわる問題や、物価高対策、少子化対策などが主な争点となった。

今回の選挙にあたっては、野党間で選挙協力を模索する動きがあったものの、結局合意には至らず、野党が競合した状態での選挙となった。

投票率については、小選挙区は、全国平均53.85%で前回（令和3年10月31日執行）と比べ2.08ポイント減となった。北海道では、56.15%で前回比2.64ポイント減、札幌市では、55.07%で前回比1.82ポイント減という結果であった。

また、期日前投票者数は、全国では20,955,450人で、前回と比べて1.83ポイント増であり、札幌市においては、265,294人で前回と比べて0.43ポイント増であった。なお、投票者数に占める割合は28.54%と、前回と比べて1.02ポイントの増となった。

次に、立候補の状況であるが、北海道内の小選挙区数は12あり、このうち札幌市は第1区から第5区の5選挙区に分かれている。令和4年11月28日に区割りの改定に係る公職選挙法の一部を改正する法律が公布され、今回の選挙から白石区の一部が第3区から第5区に変更となった。これにより、第1区（中央区、北区の一部、南区、西区の一部）、第2区（北区の一部、東区）、第3区（白石区の一部、豊平区、清田区）、第4区（西区の一部、手稲区）、第5区（白石区の一部、厚別区）となり、立候補者数は、第1区が5人、第2区が4人、第3区5人、第4区が4人、第5区が3人であった。

なお、北海道内の小選挙区には、候補者届出政党等別で自由民主党が11人、立憲民

主党が12人、日本共産党が9人、日本維新の会が3人、公明党と参政党が各1人、本人届出として2人（無所属）の計39人が立候補し、選挙の結果、自由民主党が3議席、立憲民主党が9議席を獲得した。

また、比例代表では、北海道選挙区（ブロック）定数8人に対し、自由民主党（名簿登載15人、うち重複立候補10人）、立憲民主党（名簿登載15人、うち重複立候補11人）、日本維新の会（名簿登載4人、うち重複立候補3人）、日本共産党（名簿登載2人、うち重複立候補1人）、公明党（名簿登載2人）、安楽死制度を考える会（名簿登載2人）、日本保守党（名簿登載2人）、国民民主党（名簿登載1人）、れいわ新選組（名簿登載1人）、社会民主党（名簿登載1人）、参政党（名簿登載1人、うち重複立候補1人）の11政党等が名簿（名簿登載46人、うち重複立候補26人）を届け出たが、選挙の結果、自由民主党が3議席、立憲民主党が3議席、公明党が1議席、国民民主党が1議席を獲得した。重複立候補による復活当選者は5人（自由民主党2人、立憲民主党3人）であった。

全体の結果では、衆議院の定数465に対して自由民主党が前回選挙時259議席から191議席と議席を大幅に減らし、連立政権を組む公明党も32議席から24議席に減らした結果、両党で215議席と過半数の233議席を割り込んだ。

また、立憲民主党は前回選挙時96議席から148議席に、国民民主党は前回選挙時11議席から28議席に議席を大幅に伸ばした。

日本維新の会は、衆議院第3党は変わらないものの、41議席から38議席と3議席を減らす結果となった。

国民民主党は前回選挙時11議席から28議席に、れいわ新選組は前回選挙時3議席から9議席に議席を伸ばした。

なお、衆議院議員総選挙と併せて執行された最高裁判所裁判官国民審査においては、審査に付された裁判官6人全員について罷免を可としないものと決定された。

以下は、この衆議院議員総選挙の概要である。

(1) 選挙の期日

- ア 公示日 令和6年10月15日（火）
 イ 選挙期日 令和6年10月27日（日）

(2) 選挙人名簿の登録（選挙時登録）

ア 選挙時登録

公職選挙法第22条第3項の規定により次のように定められた。

- (ア) 登録基準日 令和6年10月14日（月）
 (イ) 登録日 令和6年10月14日（月）

上記の登録により、札幌市の選挙人名簿登録者数は1,689,649人となり、全道計（4,378,027人）の38.59%（前回37.62%）を占めることとなった。

<選挙人名簿登録者数比較>

登録時 区分	今回 (令和6年10月14日現在)	前回衆議 (令和3年10月18日現在)	直近の定時登録 (令和6年9月2日現在)	前回参議 (令和4年6月21日現在)
登録者数	(A) 1,689,649人	(B) 1,689,216人	(C) 1,688,390人	(D) 1,690,176人
対比	——	(A)－(B) 433人	(A)－(C) 1,259人	(A)－(D) -527人

(3) 在外選挙人名簿の登録

登録は随時行う。ただし、公職選挙法第30条の6第3項の規定により、令和6年10月15日（公示日）から10月27日（投票日）までは登録しない。

(4) 在外選挙人名簿登録者数（令和6年10月14日現在）

男 278人 女 478人 計 756人（全道 2,380人）

(5) 候補者数

小選挙区（定数 289）の候補者数は1,113人（前回857人）で、競争率は3.85倍（前回2.97倍）であった。なお、北海道内（定数12）では、候補者数は39人（前回32人）で競争率は3.25倍（前回2.67倍）であった。

また、比例代表（定数 176）については、全国11選挙区（ブロック）において、12政党等（前回13政党等）から名簿の届出（名簿登載881人（前回817人）、うち重複立候補650人（前回623人））がなされ、競争率は5.01倍（前回4.64倍）であった。

なお、北海道選挙区（定数8）は候補者数46人（前回43人）で競争率は5.75倍（前回5.38倍）であった。

(6) 選挙運動費用の支出制限額

小選挙区における北海道第1区から第5区までの選挙運動費用支出制限額は、次のとおりであった。

北海道第1区	25,923,600円（25,871,800円）
北海道第2区	25,998,200円（26,022,000円）
北海道第3区	26,019,300円（26,233,800円）
北海道第4区	25,130,900円（24,562,200円）
北海道第5区	25,562,700円（26,127,100円）

※（ ）内は前回選挙時の制限額

(7) 選挙公営

ア ポスター掲示場（小選挙区）

札幌市における設置数は2,211箇所（政令基準による設置数は2,395箇所であり、184箇所を減少した。）で、前回（2,209箇所）から2箇所増加し、1投票区あたりの平均設置数は前回と同数の7.1箇所であった。

なお、ポスター掲示場の区画数は、第1区～第5区とも8区画（前回8区画）であった。

イ 選挙（審査）公報（小選挙区、比例代表、国民審査）

小選挙区の選挙公報及び国民審査の審査公報は、それぞれブラケット判2ページ（両面刷り）、比例代表の選挙公報はブラケット判4ページ（両面刷り）で、丁合されたものを10月18日に道選管から各1,232,700部（前回1,142,600部）受領した。世帯配布については、ポスティング事業者への委託と各町内会等の協力を得て10月25日（選挙期日前2日）までに完了した。

なお、選挙公報及び審査公報の配布協力者への配送は、運送業者に委託した。

ウ 個人演説会等

公営施設使用の個人演説会等は全市で16回行われ、前回（21回）より5回減少した。これらの個人演説会はすべて公費負担で行われた。

また、政党演説会、政党等演説会はどちらも0回（前回0回）であった。

(8) 投票

ア 投票所

全市総数は312箇所、区割り変更に伴い、白石区の投票所が1箇所増加した。

選挙時登録日(10月14日)現在における選挙人名簿登録者数の最大は豊平区第11投票区(美園小学校)の10,284人、最小は東区第26投票区(義務教育学校福移学園)の52人であった。

イ 投票の状況

投票は10月27日(日)午前7時に開始され、午後8時に終了した。

全市の投票所の事務従事者(投票管理者を除く。)は4,264人で、前回の4,510人より246人の減となった。

投票は、小選挙区、比例代表、国民審査の順で行い、投票用紙は、合成紙(BPコート110(点字の投票用紙は色上質紙特厚口))を使用し、小選挙区があさぎ色(薄青色)の紙に黒色インク刷、比例代表がピンク色の紙に黒色インク刷、国民審査がうぐいす色(薄緑色)の紙に黒色インク刷であった。

投票日当日の札幌市の天候は、気象庁の気象データでは、午前6時から午後5時までは曇、午後6時は晴、午後7時以降は曇であり、最高気温は15.9℃、最低気温は6.1℃であった。

小選挙区の投票率の札幌市平均は55.07%(前回56.89%)であった。また、全道平均は56.15%(前回58.79%)、全国平均は53.85%(前回55.93%)であった。比例代表の投票率の札幌市平均は55.06%(前回56.88%)、全道平均は56.15%(前回58.78%)、全国平均は53.84%(前回55.92%)であった。

投票の確定時刻は、午後11時40分(前回午前2時33分)であった。

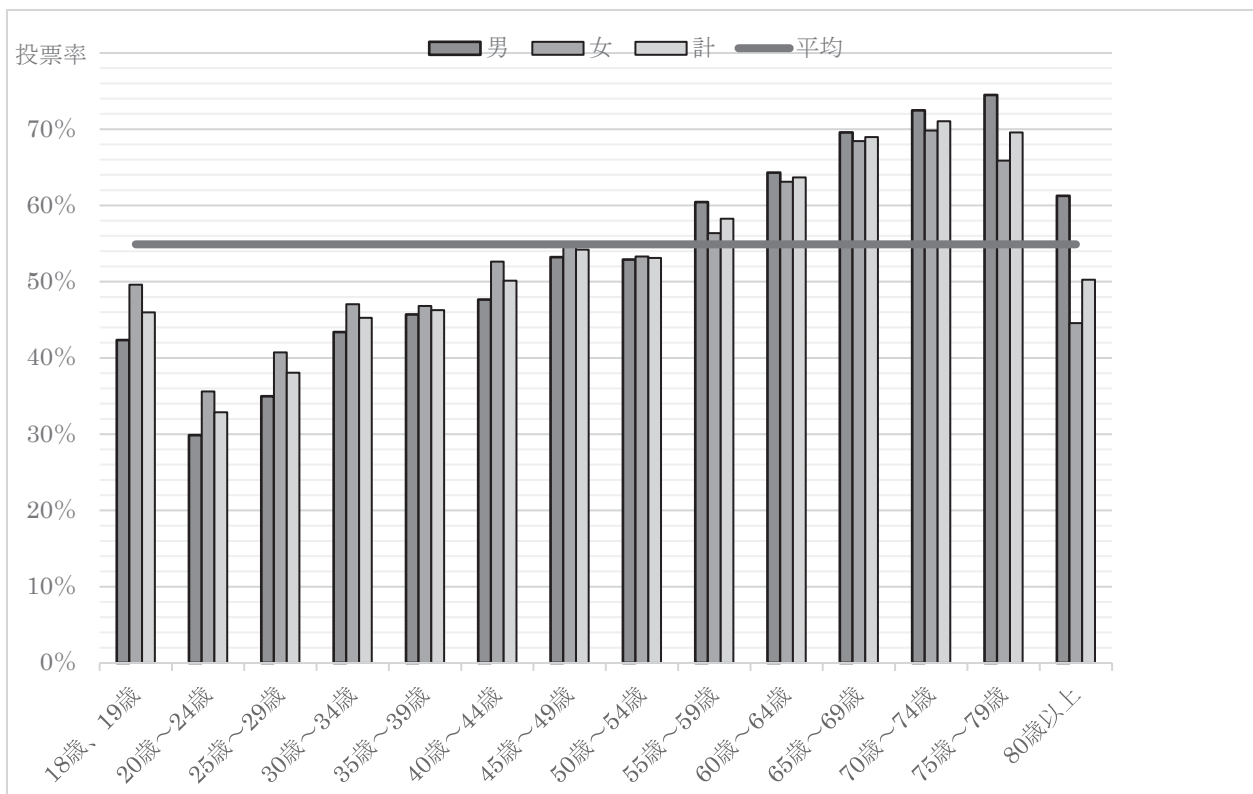
＜投票率比較＞

選挙時 選挙の別	今回 (令和6年10月27日執行)	前回 (令和3年10月31日執行)	前々回 (平成29年10月22日執行)
小選挙区	55.07%	56.89%	58.94%
比例代表	55.06%	56.88%	58.92%
国民審査	54.93%	56.69%	58.62%

※ いずれも札幌市平均値。小選挙区、比例代表及び今回の国民調査の投票率には在外投票に係る数値を含む。

市内10投票区を抽出した小選挙区の年齢別投票率は以下のとおり。

＜年齢別投票率比較（小選挙区）＞



ウ 在外選挙人名簿登録者の投票

在外選挙人制度による小選挙区の投票率は、札幌市平均は20.79%（前回21.25%）、全道平均は13.88%（前回14.67%）であった。

エ 期日前投票

小選挙区の期日前投票者数は265,294人で、投票者数に占める割合は28.54%（前回27.52%）、有権者数に占める割合は15.72%（前回15.66%）であった。

オ 不在者投票

小選挙区的不在者投票者数は12,955人で、前回(13,420人)と比べて465人の減であった。

うち、郵便投票に係る不在者投票者数は325人であった。

(9) 開票

ア 開票の状況

開票は10月27日（日）午後9時から各区一斉に行われ、翌10月28日午前2時43分にすべてが確定した。

また、前回に引き続き、読取分類機を活用した開票事務を行い、前回（2,897人）と同程度となる2,990人の従事者で開票事務を行っている。

取り扱った投票の総数は2,785,505票（小選挙区929,506票、比例代表929,298票、国民審査926,701票）であった。

<開票確定時刻>

選挙の別 \ 選挙時	今 回 (令和6年10月27日執行)	前 回 (令和3年10月31日執行)
小 選 挙 区	10月28日 午前2時34分 (5時間34分)	11月1日 午前1時55分 (4時間55分)
比 例 代 表	10月28日 午前2時15分 (5時間15分)	11月1日 午前4時27分 (7時間27分)
国 民 審 査	10月28日 午前2時43分 (5時間43分)	11月1日 午前3時53分 (6時間53分)

※（ ）内は、開票開始から終了までの所要時間

イ 無効投票

無効投票数は次表のとおりであり、無効投票に占める白票の割合は小選挙区65.73%（前回62.44%）、比例代表69.05%（前回64.56%）であった。

＜無効投票数＞

選挙時 選挙の別	今回 (令和6年10月27日執行)	前回 (令和3年10月31日執行)
小選挙区（札幌市計）	25,515票(2.75%)	20,499票(2.14%)
比例代表（札幌市計）	15,558票(1.67%)	16,023票(1.67%)
国民審査（札幌市計）	28,800票(3.11%)	23,631票(2.47%)

※（ ）内は、投票総数に占める無効投票の割合

(10) 選挙結果

北海道内の選挙前の議席数（20）は自由民主党10、立憲民主党8、公明党2であったが、選挙結果では、自由民主党6、立憲民主党12、公明党1、国民民主党1となった。このうち、前議員は14人、新人は5人、元議員は1人であった。

全国的には、自由民主党が191議席と、前回選挙時259議席から68議席減らし、過半数を割り込んだ。自由民主党と連立政権を組む公明党が獲得した24議席を合わせても過半数を割り込む結果となった。

また、立憲民主党が148議席と、前回96議席から大幅に議席を伸ばし、日本維新の会が38議席、国民民主党が28議席、れいわ新選組が9議席、日本共産党が8議席、参政党が3議席、日本保守党が2議席、社会民主党が1議席を獲得、本人・推薦届出は13人が当選した。

当選人のうち、前議員は343人（前回345人）、新人は98人（前回96人）、元議員は24人（前回24人）であり、全体の約74%を前議員が占める結果となった。

なお、全体の女性の当選人は73人（前回45人）と前回より28人増加しており、北海道内の女性の当選人は6人（小選挙区4人、比例代表2人）（前回4人）であった。

また、比例代表の重複立候補による当選人は130人（前回130人）であった。

ア 小選挙区（北海道内12選挙区）

〈候補者別得票数〉

1 区	当 108,394 道 下 大 樹 立民 前 80,133 かとう 貴 弘 自民 新 21,451 千 葉 なおこ 共産 新 20,097 田 中 よしひと 参政 新 20,000 小 林 さとる 維新 新	7 区	当 77,189 鈴 木 たかこ 自民 前 比 54,888 しのだ 奈保子 立民 新
2 区	当 94,002 松 木 けんこう 立民 前 76,835 高 橋 ゆうすけ 自民 前 32,073 山 崎 泉 維新 新 31,855 宮 内 しおり 共産 新	8 区	当 97,758 おおさか 誠 二 立民 前 比 83,006 向 山 じゅん 自民 新 11,708 本 間 かつみ 共産 新
3 区	当 100,136 荒 井 ゆたか 立民 前 83,089 高 木 ひろひさ 自民 前 22,915 伊 藤 りち子 共産 新 21,802 とりこし 良 孝 維新 新 11,972 増 田 健 治 無 新	9 区	当 106,007 山 岡 達 丸 立民 前 62,328 松 下 ひでき 自民 新 20,557 たつの 広 志 共産 新
4 区	当 101,484 おおつき くれは 立民 前 比 94,090 中 村 ひろゆき 自民 前 19,063 佐々木 あけみ 共産 新 10,322 さいとう 佳 代 無 新	10 区	当 78,362 神 谷 ひろし 立民 前 75,990 いなつ 久 公明 前
5 区	当 125,444 池 田 ま き 立民 元 100,893 和 田 よしあき 自民 前 16,399 鈴 木 りゅうじ 共産 新	11 区	当 84,522 石 川 かおり 立民 前 66,877 中 川 ゆうこ 自民 前 10,367 佐 藤 耕 平 共産 新
6 区	当 100,694 東 くによし 自民 前 比 94,193 にしかわ 将 人 立民 新 19,909 おぎう 和 敏 共産 新	12 区	当 78,645 武 部 あらた 自民 前 比 71,608 かわはらだ 英世 立民 新

※ 「当」は小選挙区での当選、「比」は重複立候補による比例代表での当選

イ 比例代表（北海道選挙区）

〈政党等別得票数〉

政 党 等 名	札幌市得票数計（票）		北海道得票数計（票）		当選人数（人）
立 憲 民 主 党	259,068.765	(28.35%)	694,578.943	(29.01%)	3
自 由 民 主 党	206,504	(22.60)	641,127	(26.78)	3
公 明 党	88,277	(9.66)	253,344	(10.58)	1
国 民 民 主 党	95,784.222	(10.48)	192,303.871	(8.03)	1
れいわ新選組	67,190	(7.35)	177,620	(7.42)	0
日 本 共 産 党	71,294	(7.80)	169,799	(7.09)	0
日本維新の会	49,944	(5.47)	96,954	(4.05)	0
日 本 保 守 党	27,578	(3.02)	61,903	(2.59)	0
参 政 党	27,541	(3.01)	57,002	(2.38)	0
社 会 民 主 党	12,070	(1.32)	31,134	(1.30)	0
安楽死制度を考える会	8,489	(0.93)	18,455	(0.77)	0
計	913,739.987		2,394,220.814		8

※ 北海道得票数計の降順、（ ）内は小数点以下第3位を四捨五入

〈政党等別当選者氏名〉

	名簿	氏名	順位	小選挙区	(惜敗率)		名簿	氏名	順位	小選挙区	(惜敗率)
立憲民主党	1	池田 まき	1	当	100.000	自由民主党	1	伊東 よしたか	1	当	100.000
	1	しのだ 奈保子		落	71.108		2	東 くによし			
	3	道下 大樹		当	100.000		2	鈴木 たかこ			
	3	松木 けんこう		当	100.000		2	武部 あらた			
	3	荒井 ゆたか		当	100.000		2	中村 ひろゆき	2		
	3	おおつき くれは		当	100.000		2	向山 じゅん			
	3	山岡 達丸		当	100.000		2	高木 ひろひさ			
	3	神谷 ひろし		当	100.000		2	高橋 ゆうすけ			
	3	石川 かおり		当	100.000		2	中川 ゆうこ			
	3	にしかわ 将人	2	落	93.543		2	かとう 貴弘	3		
	3	かわはらだ 英世		落	91.052		2	松下 ひでき			
	12	石川 知裕					12	渡辺 孝一			
	13	石川 秀行			13		三輪 綾子				
	14	鈴木 敦子			14		相馬 亜紀				
	15	田島 央一			15		久保 じゅん				
公明党	1	佐藤 英道	1			国民民主党	1	臼木 ひでたけ	1		
	2	齊藤 勇太									
新選組 れいわ	1	のむらパターソン和孝				日本共産党	1	はたやま 和也		落	33.887
							2	宮内 しおり			
日本維新の会	1	山崎 泉		落	34.119	日本保守党	1	小野寺 まさる			
	1	とりこし 良孝		落	×		2	堀田 真作			
	1	小林 さとる		落	×						
	4	喜多 義典									
参政党	1	田中 よしひと		落	×	社会民主党	1	鳴海 一芳			
安楽死制度を 考える会	1	佐野 秀光									
	2	中村 治									

※ ゴシック体が当選者

※ 左上より右下に向かって、北海道得票数計の降順

※ 惜敗率欄が「×」となっている衆議院名簿登載者は、重複立候補者のうち小選挙区選出議員の選挙で供託物没収点（有効投票総数の10分の1以上の得票）に達しなかった者であり、比例代表選出議員の選挙の衆議院名簿に記載されていないものとみなされる者である。

ウ 政党等別当選者数（北海道）

〈政党等別当選者数〉

(単位 人)

区 分 政党等名	小選挙区				比例代表				計			
	新	前	元	計	新	前	元	計	新	前	元	計
立憲民主党		8	1	9	3			3	3	8	1	12
自由民主党		3		3	1	2		3	1	5		6
公明党						1		1		1		1
国民民主党					1			1	1			1
れいわ新選組												
日本共産党												
日本維新の会												
日本保守党												
参政党												
社会民主党												
安楽死制度を 考える会												
計	-	11	1	12	5	3	-	8	5	14	1	20

※ 当選者数計の降順

エ 政党等別当選者数（全国）

〈政党等別当選者数〉

(単位 人)

区 分 政党等名	小選挙区				比例代表				計			
	新	前	元	計	新	前	元	計	新	前	元	計
自由民主党	7	125		132	7	51	1	59	14	176	1	191
立憲民主党	14	83	7	104	25	10	9	44	39	93	16	148
日本維新の会	6	17		23	3	11	1	15	9	28	1	38
公明党		4		4	4	16		20	4	20		24
国民民主党	4	6	1	11	14	1	2	17	18	7	3	28
れいわ新選組					4	3	2	9	4	3	2	9
日本共産党		1		1	3	4	7	7	3	5		8
参政党					2	1		3	2	1		3
日本保守党					2			2	2			2
社会民主党		1		1						1		1
みんなでつくる党												
安楽死制度を 考える会												
政党等所属			1	1							1	1
無所属	3	9		12					3	9		12
計	34	246	9	289	64	97	15	176	98	343	24	465

※ 当選者数計の降順